

お知らせ

講演会のご案内



男女共同参画社
会づくり講演会を
開催いたします。

演題 見直そう!! 地域力・近所力
講師 元殿さまキングス、
NPO法人「命のつどい」理事長
多田そうべいさん

日時 平成21年1月25日(日)
午前10時から正午

場所 蓮田市役所

※手話通訳、託児あり
詳しいことが決まりましたら「広報は
すだ」でお知らせいたします。

問合せ 総務課人権担当
☎768-3111 (内線296)

※女性人材リスト登録者募集※

蓮田市では、市政や地域の発展に積極的に参加していただける女性を募集しています。応募していただいた方は、「蓮田市女性人材リスト」に登録させていただき、市の審議会や委員会等の委員等を選出するときの資料として活用させていただきます。

問合せ 総務課人権担当
☎768-3111 (内線296)

ビデオテープ貸出し

個人・団体に貸出しています。

- ならんで一緒に歩きたい
男女共同参画社会づくりに向けて 16分
- 21世紀はみんなが主役
男女共同参画社会基本法のあらまし 23分
- 地域こそって子育てを!
薬丸裕英が聞く樋口先生の育児支援ガイド 28分
- ドメスティック・バイオレンス
家庭内における女性と子どもへの影響 25分
- ドメスティック・バイオレンス
どうして私を殴るのですか
～妻や恋人への暴力は犯罪です～ 25分
- 根絶! 夫からの暴力04
あなたは悩んでいませんか? 30分
- 広がる未来! 私が選ぶ
チャレンジする女性たち 29分

問合せ 総務課人権担当 ☎768-3111 (内線296)

「ご意見をお寄せください」

「はすてる」では、皆様のご意見を募集しています。今後載せてもらいたい内容、今回の内容に対するご意見ご感想などをお寄せください。また、男女共同参画全般に関するご意見もお待ちしております。

問合せ・あて先

〒349-0193 (住所不要)
蓮田市役所総務部総務課人権担当
☎768-3111 (内線296)

編集員紹介



江崎 淑子 木村紀由美 郡司富美子 澤田 喜子
大門 龍博 和田 文夫 (50音順)

編集後記

ここ数年、毎日のように食品偽装の事件がニュースとして、取り上げられています。また、日本は食料自給率が低く、どうしても中国産などに頼らざるをえない状況です。最近、子どもが描く食事は、一人で食事をしている絵が多いらしいです。昔のホームドラマのような家族全員で食事をすることは今の忙しい家庭では少ないのでしょうか? いろいろなることを思いながら、もう一度「食生活」について考えたく、このテーマを選びました。

安心しておいしく、楽しく、そして家族仲良く、食事を通じて健康な心身を築いていくためのヒントをお寄せください。アンケート、インタビューにご協力をいただきありがとうございます。

「はすてる」とは?

子どものころから女はピンク、男はブルーと従来の固定観念にとらわれてしまっていることが多いようです。男女が性別にこだわらず自由に好きな色が選べ、柔軟な発想ができることを理想としていきたいと願い、やわらかい中間色という意の「はすてる」としました。

はすてる

心ゆたかに
生きる



蓮田市男女共生情報誌
第10号. 2008.12



広げよう 食育の輪!



今、食育に求められているものは?

最近、食育という言葉をよく耳にしますが、そもそも「食育」とは？
私たちの食をめぐる環境の変化に伴い、食事が不規則になったり、栄養のバランスがくずれたり、さまざまな問題が起きています。

この問題に対処するために、国では、食育基本法を平成17年6月に制定しました。この中で、食育の推進を①生きる上での基本で、教育の三本の柱の知育、徳育、体育の基礎となるべきもの②さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることとしています。

そこで、家庭における食育の現状について、アンケート調査を実施しましたので、その結果を報告します。

食育について、皆さんもいっしょに考えてみませんか。

1 朝ごはんは毎日食べますか?

朝食を食べない子どもが増えていると聞きますが、約97%が朝食を食べています。朝食は一日の始まり、元気のみなもと、必ず食べるようにしましょう。

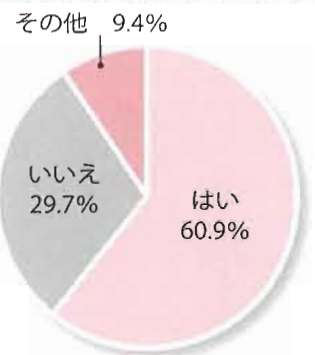


「食育」に関するアンケートを行いました

- 対象者●夏休み子ども講座受講者の保護者
- 回答者数●64人
- 調査時期●平成20年7月30日・31日

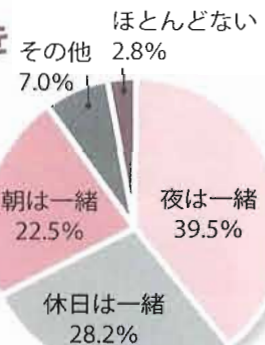
3 食べるときテレビをつけていますか?

約60%がテレビを見ながら食事をしていました。テレビをつけたまま食事をするのが習慣化しているものと思われるが、テレビを消すことで家族での会話が増えるかもしれません。



2 あなたの家では家族そろって食事をしていますか?

食事は、家族がそろってはじめて楽しく食べられるもの。約90%がなんらかの形で家族そろって食べて、特に夕食は約40%がいっしょに食べています。家族で食卓を囲む機会を意識して増やしてみましょう。



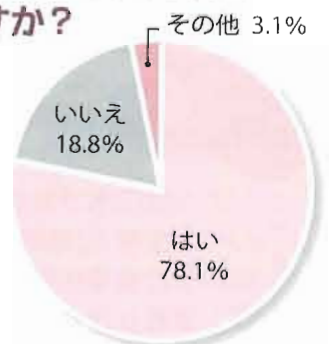
4 食事のとき、家族間で会話がありますか?

約94%の家庭では、会話をしながら食事をしていきます。居心地がよいと感じられる食卓ですと、自然と会話が広がり、楽しく食が進みます。



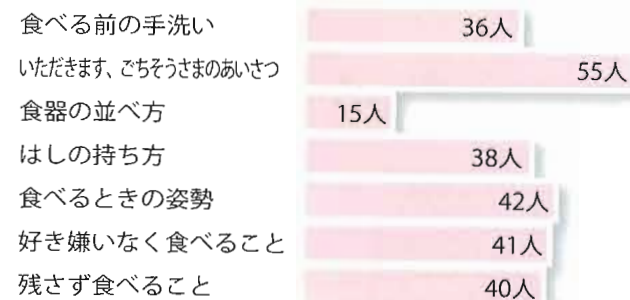
7 買い物をするとき産地に気になりますか?

食の安全が問われている今、約80%が食材の産地を気にしているようです。加工品に頼らず、自分で選んだ食材を使って、自分で料理をすることで、安心して食べられます。



5 食に関して子どもに教えていることはありますか?

(複数回答あり)



食卓は、食事のマナーを教える大切な場所です。食事の時のあいさつ、姿勢、好き嫌いの解消、残さず食べるなど食事のマナーの基本です。楽しく食事のルールを学びましょう。

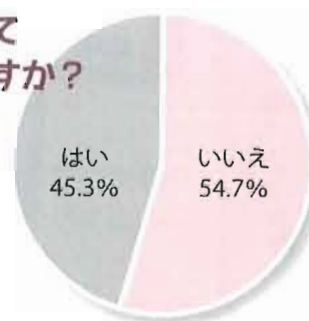
8 買い物や料理を子どもに手伝ってもらうことはありますか?

約92%がお手伝いをしていようです。食事のことは、母親の担当と思われがちですが、家族みんなで調理に参加することがたいせつです。小さいころから女の子、男の子にかかわらず生きるための基本の食について考えるきっかけをつくってあげましょう。



6 家では野菜を作ってそれを食べていますか?

約45%が自家製の野菜を食べています。小さいころから自分で野菜を育てたり、ふれたりすることで、食に対するありがたさを感じます。苦手だった野菜を食べられるようになることもあります。プランターなどで野菜づくりに挑戦してみませんか。



9 食に関して考えていることがあれば、教えてください。

- 食事はマナーを指導する場であると思う
- 地場産で新鮮な旬のもの食べるようにする
- できるだけ国産で安全なものを買う
- 出来合いのものは買わない
- 食事は薬だと思う
- 素材を生かし、楽しく食べる

平野地域 育児サークル「リトルミッフィー」のお母さんに食育について聞きました

リトルミッフィー

地域で、子育て中のお母さん18人が、子どもといっしょに集まっています。毎週水曜日10:00から12:00まで(上の子が幼稚園に行っている間)で、場所は農業者トレーニングセンターです。イチゴ狩り、遠足に行くこともあります。育児の悩みなどいろいろな思いを共有できるにぎやかで楽しい集まりです。



朝ごはんは夫を送り出してから子どもといっしょに食べます。

夫が何もしないので子どもには少しずつ教えたい。

祖父母と同居していますが、晩酌しながら食べるので、子どもがいっしょだとダラダラしてしまいます。

子どもが食べ物に興味を示すよう、かわいい器にしています。

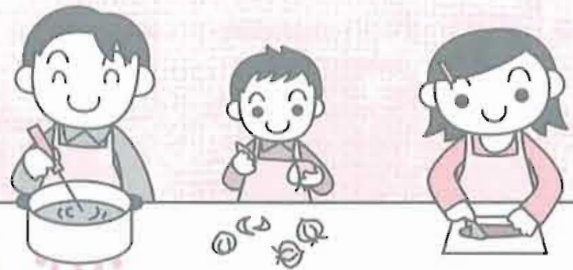
野菜は家で作っているし、多く取るように心がけています。

ご飯を残したらごちそうさまの後に残してごめんなさい。と言うようにさせている。ありがたいという気持ちを教えたい。

嫌いなものをなるべく食べるように工夫している。同じ兄弟でも性格が違い、お兄ちゃんは難しい。

子どもにもお米とぎをさせている。

おやこ料理教室へ 潜入!



蓮田市では食生活改善推進員協議会の主催で、毎年小学生を対象とした「おやこ料理教室」を開催しています。今年も8月9日に教室が開かれ、4組の親子が料理に挑戦しました。



はじめての料理に興味しんしん



男の子でも料理に挑戦!



大人に負けない出来ばえです



みんなでおいしくいただきました

- フルーツラッシー
- 「塩」のサラダ
- スープカレー

小学生を対象に 親子で楽しくクッキング!!

突撃
レポート

Q. 参加のきっかけは?
親。市の広報を見て決めました。
子。去年も来て楽しかったから。

Q. おうちでも料理を作りたいですか?
子。作りたい。

Q. お子さんに料理を手伝ってもらいたいですか?
親。もちろん。

Q. 参加のご感想は?
子。楽しかったし、とってもおいしかった!
親。子どもに丁寧に教えていただき助かりました。
ご協力ありがとうございました!

男性にとっての 男女共生とは?

食事を作ることで
女性の役割?



共働きでも家事をする時間はほとんど女性です。欧米諸国と比較してわが国では男性の家事・育児時間が大変少ないとの統計もあります。料理も例外にもれず、1994年から家庭科が男女共修となりましたがまだまだ男性は料理をしない人が多いようです。

男性の皆さん
料理をしてみてください

ところで料理をしないのは「忙しくてやれない」のではなく「やり方を知らないから出来ない」のでしょうか? 「出来ない」ままでいいのでしょうか? 「いや良くはない! 男だって料理に挑戦したい」そんな人々があつまる「男性の厨房教室」をレポートしてきました。

男性の厨房教室とは?

食生活改善推進員のサポートにより、7年前から毎年実施。6月から8月末にかけて4回シリーズで栄養・健康に関する講話から調理の実習を行います。今年も、生まれて初めて料理をされるかたから、ふだんから厨房に立つかたまで12人が参加しました。

やってわかる大変さ なかなかつらい現実も

全課程を終えられた皆さんに感想をお尋ねしました。

参加理由は?
「ちゃんとした料理を作りたい」「家で食事の不平をいうと奥さんにあなたがやりなさいよと言われていたので」

ふだん料理で苦勞する点がありますか?
「料理を作ろうとスタンバイしているが、材料がない」「料理を作ろうと買い物に行っても、何をどのくらい買っていいかわからず、結局荷物持ち」

やってみていかがですか?
「料理は大変だけれど、楽しいのでまたやってみたい」「女房に感謝しなきゃ」「習ったとおり作ったらうまくできるようになった」「塩分やカロリー、健康のことも身に付いた」

おすすめ簡単メニュー 中華風冷やっこ

- 材料 2人分
- 木綿豆腐……………1/2丁
 - ザーサイ……………15g
 - 青じそ……………2枚
 - ちりめんじゃこ……………大さじ2
 - きゅうり……………1/4本
 - とまと……………中1/2個
 - サラダ油……………小さじ1/2
(しょうゆ・酢・ごま油・こしょう)

- 作り方
- ①フライパンに油を熱し、ちりめんじゃこをきつね色まで炒める。
 - ②ザーサイはみじん切り、きゅうり、とまとは1cmに角切り、青じそは細く切る。
 - ③豆腐を切って器に盛り、その上に①、②を散らし、しょうゆ大さじ1、酢大さじ1、ごま油小さじ2、こしょう少々を合わせたものをかける。

男性の厨房教室で作った一品です。包丁をはじめにぎるかたも、ぜひ作ってみませんか。

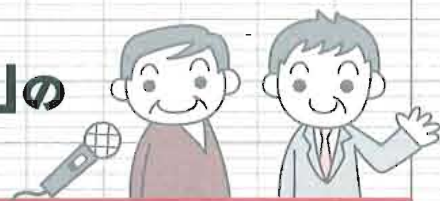


暑い日は冷やっこでなく、温めて食べるのもおすすめです

食育・料理教室に関する問い合わせ先

食生活改善推進員協議会
男厨楽の会(男性厨房教室終了者)
蓮田市役所健康増進課 ☎768-3111

蓮田南小学校「蓮南小おやじの会」のお父さんにインタビュー



Q どうしておやじの会を立ち上げたのですか？

A 蓮田南小学校のおやじたちが、「すべては子どもたちのために…」を合い言葉に、平成10年に立ち上げました。現在の会員数は、40人近くになります。会費・会則・定年はありません。活動費を捻出するために、市内のイベント等で模擬店を行い、充当しています。

現在は、定期的に小学校の環境整備や保全を行い、子どもたちとのふれあいを考え、毎年6月第1土曜日に「蓮南小おやじの会まつり」を行っています。

子どものいる所であればいろいろな所に参加しています。最近では、埼玉県B級グルメ王選手権にも参加し、「おやじ焼きスパ」並びに「蓮田市」をPRしています。

名前は「蓮南小おやじの会」で、活動の拠点が蓮田南小学校区内ですが、市内の方ならどなたでも入会できます。女性の入会も歓迎します。

大勢の人たちで子どもたちを見守り、自分たちも仲間を作り、素晴らしい地域にしていきたいと思います。



Q 参加してよかったことは？

A 新しく知り合いができ、地域とのつながりもでき、楽しく地域活動ができるようになりました。子どもといっしょに参加できるので、楽しみです。

●●男性からみた男女共生についてインタビュー●●

Q 家庭生活（子育てなど）での男女共生

A 昔に比べ、男性の育児休暇制度など、環境は整ってきていると思います。子育てには、できることから積極的にかかわり、男女が協力して助け合いながらするとよいですね。

職場での男女共生

女性が子育てを終えて仕事に復帰するとき、女性が働きやすい環境づくりが必要だと思います。女性の働く機会を確保していくことが今後ますます必要だと思います。

地域活動での男女共生

地域活動は女性が主体になっていますが、男性の参加が増えると地域が活性化すると思います。

男女共生について

女性だから男性だからと役割を分けたり、すべてを平等にしたりすることはないと思います。それぞれが得手不得手なことを補いながら協力していくことがたいせつだと思います。



蓮田市男女共生情報誌「ぱすてる」が第10号になりました

ぱすてるは、男女共生に関するさまざまな取組、情報をお届けする情報誌として市民の皆様にご愛されて今年で第10号となりました。

ぱすてる創刊号（写真①参照）が発行された1999年には、21世紀のわが国の社会において、男女共同参画社会の実現を推進するための基本となる法律、「男女共同参画社会基本法」が制定、施行された年でもあり、たいへん意義深いときにぱすてるも誕生しました。ぱすてる第6号（写真⑥参照）より、表紙に「ささえあう未来」という大きなテーマを掲げて編集することとしました。

また、昨年のぱすてる第9号（写真⑨参照）で

は、避けては通れない「介護」と「団塊世代の地域デビュー」というテーマに取り組み、さまざまなレポートを通じて皆さんに情報提供を行いました。

これからも、ぱすてるでは、男女共同参画社会の実現に向けた関連情報や具体的な取組などを届けてまいりますので、掲載された記事に関する問い合わせ、ご意見、ご要望などがありましたら総務課までご連絡いただければ幸いです。

参考として、ぱすてる創刊号から第9号までのテーマをもう一度振り返ってみたいと思います。

- 創刊号 「女らしさ、男らしさ」って何だろう ・今どきの子育て一父親学級レポート
- 第2号 いきいき働く女と男の役割 「食」から考える男女共生
- 第3号 夫婦共にささえ愛 「夫婦」っていいな
- 第4号 密着 まるやか地域づくり DVのない社会に ・いろいろな目の中の男女共同参画
- 第5号 家庭の中の男女共生 ・身近なDV・気軽に仲間づくり
- 第6号 ささえあう未来 ・心豊かで楽しい子育てを・あなたのまわりで輝いている人
- 第7号 たのしく生きる ・中学生は考えています・あなたの声を聞かせてください
- 第8号 たしかなこと ・子育ての理想と現実・子育てについて聞かせてください・知ってる？男の更年期
- 第9号 思いやりささえあい ・介護 心の準備はできていますか？・あなたも地域デビューしてみま専科？

